



司法書士による登記・法律無料相談

● 圃田地域づくり課市民相談室
(TEL 71・2496 FAX 71・3176)

司法書士による登記・法律無料相談所を開設します。

● 日時 6月17日(水) 午前9時～正午、午後1時～4時
● 場所 市役所2階(相談室204)
● 定員 12人(先着順)
● 申し込み 6月10日(水) 午前9時から電話で予約を受け付けます。



ストップ地球温暖化 環境家計簿モニターの結果報告

● 圃田環境課環境政策係
(TEL 71・2492 FAX 72・3176)

市民の皆さんの地球温暖化対策への関心を高め、家庭からの二酸化炭素の排出量を把握するため、環境家計簿モニターを募集しました。取り組み結果をお知らせします。

- 実施期間 平成26年1月～12月
- 参加世帯数 48世帯(計169人)
- 取り組み結果…平均排出量
▽1世帯あたり 8189.5 kg
- ▽1人あたり 2326 kg
- 市の二酸化炭素排出量の傾向
▽自動車中心の交通体系のため、年間を通してガソリンによる排出量が多い。
▽暖房を使用するため、夏より冬(12月から3月)の排出量が多い。

レッドデータブックから⑤ 安曇野の重要な自然環境

市の植物

犀川や高瀬川の河原にはカワラアカザ、カワラニガナ、カワラハハコ、カワラヨモギ等が生育しています。強い日差し、少ない水分等の厳しい環境に耐えて生育していますが、近頃これらの植物が大幅に減少しています。

梓川には奈川渡・水殿・稲核ダム、高瀬川には高瀬・七倉・大町ダムがあります。これらのダムにより流量が安定し、河原も裸地になることはありません。安定した河原には、アレチウリ、オオキンゲイギクやサボンソウ等の帰化植物、ドクゼリ、ヨシ、ヨモギ等の大型草本が育っていきます。さらに年数がたつと、アカマツ、カワヤナギ、ニセアカシア、ポプラ等の高木が生息し、カワラニガナ等の生育できる環境は全くなくなってしまいます。

(長野県植物研究会 横内文人さん)



カワラニガナ (キク科)

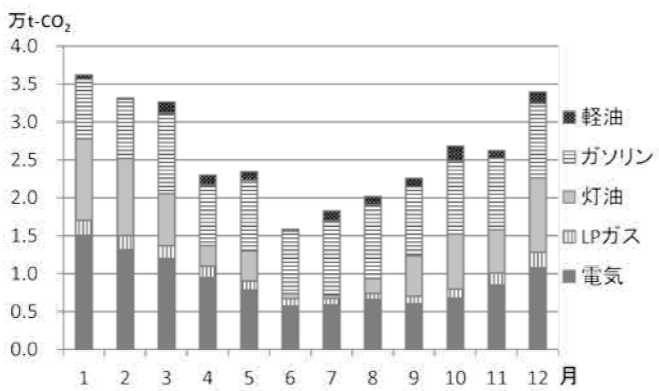
安曇野市では、絶滅危惧Ⅱ類に選定。

特徴

茎の高さは15～30cmになる多年草です。葉の縁には疎らなぎざぎざの切れ込みがあり、花は黄色を帯びます。

現在の犀川や高瀬川の河原には、ニセアカシアやポプラが急激に増えています。日陰を嫌い、他の植物との競合に弱いカワラニガナは急激に絶滅の危機へと向かっています。

モニター結果による二酸化炭素排出量の傾向(グラフ1)



- 事業者の取り組み
市内28社の事業者から環境において重点的に取り組んでいることについて、次のとおり回答を得ました。
- ▽ゴミの分別およびリサイクルの推進(92・8%)
- ▽エネルギーの節約(96・4%)
- ▽物品等の長期使用(71・4%)
- ▽帳票類の電子化(60・7%)
- ▽環境教育(60・7%)
- ▽クールビズ・ウォームビズの導入(53・5%)

- 市民の皆さんへお願い
今後も二酸化炭素の排出量を減らすために、次の項目についてご協力をお願いします。
- ① エコドライブの実施
(無駄なアイドリングをしない・急発進を避けて穏やかな運転等)
- ② 自家用車利用の抑制
- ③ 冷暖房の適切な温度設定
- ④ 電気のスイッチの切り忘れに注意する。

行政相談委員の紹介

● 圃田地域づくり課市民相談室
(TEL 72・2496 FAX 72・3176)

市内には、総務大臣から委嘱された5人の行政相談委員がいます。行政相談委員は、国・県・市等の行政や独立行政法人および特殊法人が行っている仕事に関する意見・要望をお聴きし、その解決や実現を図ります。

毎月各地域で行政相談を開催していますので、気軽にご利用ください。なお、相談は無料で秘密は守られます。日程の詳細は、広報あづみの各種相談コーナーをご覧ください。

行政相談委員(敬称略)

- 豊科 藤岡 保子 (TEL 72・3763)
- 穂高 松山 博 (TEL 82・4996)
- 三郷 松岡 光正 (TEL 77・4014)
- 堀金 三澤 俊秀 (TEL 72・6403)
- 明科 矢澤 久男 (TEL 62・3432)

連載 ベランダ菜園のすすめ 圃田農政課マーケティング担当 (TEL 71・2430 FAX 71・2507)

食生活に変化と潤いをもたせ、家族の団らんと健康維持にプランターを利用して、家庭菜園に挑戦してみませんか。今月は5月末～6月の作業について掲載します。

ニラ

日当たりと水はけのよい場所を好みます。植え付け後、週に1回500～1000倍に薄めた市販の液体肥料を水代わりに与えます。

ニラの株分けと植え替えの適期は、2月下旬～3月上旬ですが、購入した苗の植え付け適期は5月中旬～6月中旬です。

サイインゲン(つるなし品種)

収穫まで55日程度と短く、支柱も必要ありません。4月中旬から7月初旬までが種まき適期です。20cm間隔で1カ所3粒の種をまきます。本葉が開き始めたら1カ所2本に間引いて双葉のすぐ下まで土を寄せ、週に1回500～1000倍に薄めた液体肥料を与えます。

豆知識

肥料の3要素は、「窒素・リン酸・カリ」です。例えば、「8-8-8」という表記は、窒素(葉肥)、リン酸(花肥・実肥)、カリウム(根肥)が各8%含まれています。寒地や春先は速効性の肥料を元肥とします。作期の短いものや追肥には速効性、作期の長い作物は緩効性、果菜類には微量要素(鉄、亜鉛、銅、塩素など)入り肥料を選択します。根が深く張る野菜は、株と株との間や溝に穴を掘って元肥を埋め込む「溝施肥」、根が浅く張る野菜には土全体に肥料を混ぜ合わせる「全面施肥」が適しています。

